

## 1 ゼロ予算事業の趣旨

ゼロ予算事業とは、通常の事業予算を用いずに、既存の設備や人材を積極的に活用し、職員の知恵と工夫で市民に新しいサービスを提供する試みと位置づけています。「ひと」、「もの」、「予算」の組み合わせの見直しや新しい組み合わせの発見、市民との協働がキーワードとなります。そのため本来業務から一歩前に出る取り組みと考えています。

これまでも、主に生涯学習の分野ではボランティア団体との連携や地域の人材活用による取り組みが行われてきています。今後も、こうした取り組みを広く行政全般に取り入れ、市民とともに築きあげていく公共サービスを目指そうとするものです。また、内部では職員の創意工夫や部門を越えた連携を促すことを目指しています。

## 2 事業実績

ゼロ予算事業は、平成19年度から実施されており、これまでの実績は次のとおりです。

年 度	事業実績数	備 考
平成19年度	35件	
平成20年度	50件	

## 3 平成21年度における事業実績

平成21年度に実施したゼロ予算事業は53件となっています（資料1参照）。このうち、平成21年度当初に新規事業として計画されて取り組んだものが10件、前年度からの継続事業として取り組んだものが29件、及び当初計画にはなかったものの期中新規事業として取り組んだものが14件となっています。

## 4 平成22年度ゼロ予算事業の計画

平成22年度においてもゼロ予算事業を実施することとしており、当初計画では55件となっています（資料2参照）。このうち、新規事業が10件、継続事業が45件となっており、引き続き、市民とともに築きあげていく公共サービスを目指すとともに、職員の創意工夫や部門を越えた連携を促すよう取り組んでまいります。

[資料1]

## 平成21年度ゼロ予算事業実績一覧表

### (1) 当初計画された新規事業

No.	実施部署	事業名	事業内容	事業効果	備考
1	市民生活部 環境課	民間事業所の広告媒体を活用した「ごみ減量」等の啓発	市民に対して、ごみの減量化や地球温暖化防止への自覚を促すため、市内の遊技場（パチンコ店）の電子広告媒体を活用し、広く「ごみ減量」等の周知を図った。	環境に関する標語等を掲示している電子広告掲示板は、タカヤナギイーストモール店前の県道沿いにあるため人目につきやすく、PR効果は高いと思われる。	
2	農林商工部 農林振興課	鮭の稚魚の成長観察	市営ふ化場で秋に採捕した鮭から採卵、受精した卵（発眼卵）を各小学校の水槽に移し、ふ化の瞬間とその後の成長を観察、餌やり等を体験させ、川に放流する。 ふ化場では、水槽の設置、放流までの飼育についてサポートする。	鮭の誕生から放流までの成長を観察し、育成を体験することにより、子ども達に自然環境及び生命の大切さを学ばせることができた。  【参加人数 140名】	
3	教育委員会 角間川公民館	救急救命講習	公民館にAEDが設置されてから久しくなるが、いざという時に使い方がわからないと困るため、大曲消防署南分署より消防士2人を講師に招き、日頃公民館を利用しているサークル会員等を対象として、広くAEDの使い方に関する講習会を開催した。	日頃から、不測の事態に不安を抱えていた救急救命について、今回1人ひとりが講習を受けその不安がなくなった。  【参加人数 21名】	
4	教育委員会 神岡分室	子どもふるさと体験事業	公民館職員が主体となり、市内の小学生を対象にふるさとの自然・文化行事に参加する働きかけをして参加者を募り、行事に参加し地域をより深く知ってもらう。	地域内の観光地を徒歩及び車で移動して回る神岡観光ツアーを実施し、地域の子どもたちにより深く地域を知ってもらい地域を愛するところを植え付けてゆきたい。  【参加人数 6名】	

No.	実施部署	事業名	事業内容	事業効果	備考
5	教育委員会 神岡分室	子ども自主体験事業	子どもの自主性を育て実行力をつけるため、子ども達が今、何を公民館に求めているかを探り、事業を実施するもので、今回、生キャラメル作りに挑戦した。できあがった物は、自宅へ持ち帰り試食した。	子どもの自主性を育てるほか、実行力をつけさせることができた。  【参加人数 9名】	
6	教育委員会 西仙北分室	スキー教室	ゲレンデにクロスカントリーコースが隣接している西仙北スキー場とスキーハウスを核に歩くスキーを奨励する。併せて、中高年を対象に、基礎スキーの講習会を開催し、中高年の冬季スポーツに取り組む環境整備とスキー場の利活用を図る。共に分室職員等が指導にあたる(対象一般3回、小学生3回)。	現在実施中。終了次第報告。  【参加人数 名】	
7	教育委員会 協和分室	自主事業におけるキッズルーム(託児)開設	保育士としての資格を生かし、協和分室主催の自主事業時に協和市民センター「和ピア」においてキッズルーム(託児)の開設。	核家族の子育て中の母親からの託児申込があり、安心して自主事業を鑑賞していただくことができた。託児というサービスがまだ市民に定着されていないため、申込が少なかったが、これからはサービスの周知をし自主事業の勧誘を図るとともに、若い世代の子育て支援の場としての一旦も担っていく。  【参加人数 1名】	
8	教育委員会 南外分室	こどもぶっくらぶ	「本に触れ、本の楽しさを学習し、本を好きになってもらうこと」を目標に掲げ、7ヵ月検診時の乳児および地域内小学生1年生から3年生を対象に、読み聞かせを主に地域の図書館ボランティアと協働で包括的に支援、実施した。	7ヶ月検診を受ける乳児に絵本への興味をもたせるとともに保護者への読書指導をおし子どもとのコミュニケーションづくりのきっかけをつくることができた。また、読み聞かせをおし、本と触れあう切っ掛けをつくり、読書の習慣を身につけさせることにより成長期の児童の幅広い知識を養い、心豊かな感性を育む。  【参加人数 36名】	

No.	実施部署	事業名	事業内容	事業効果	備考
9	教育委員会 南外分室	みんなの南外公民館 ブログ	生涯学習事業や学習者向け地域情報などを、職員によるブログ更新という形式でリアルタイムに提供し、生涯学習やスポーツ振興に関する知識や理解を深めてもらうことを目的とし、ワープロソフト一太郎を販売するジャストシステム社が無償にて提供しているブログサービスを活用し、職員の手でリアルタイムに事業状況やお知らせなどを提供する。	インターネットユーザー層に対し、時間や場所にとらわれずに生涯学習事業や学習者向け地域情報を提供することにより、事業参加者の裾野を広げることができた。 自分が参加した事業をブログを通じて自宅で家族と一緒に確認するなど、家庭での話題作りにもなっている。 ブログに掲載された写真は、自宅のパソコンから写真としてプリント印刷することも出来る為、参加者からは、事業に参加した記念になると喜ばれている。	
10	教育委員会 仙北分室	家庭でできるエコロジー	地球温暖化の原因であるCO2削減のために、身近な環境の中でできることについて、見直してみる機会を提供し、削減のための実践を促すことを目的に、環境課職員を講師として家庭ごみの分別・減量・再資源化・排出マナーなどについて再確認し、大仙市としてのCO2削減取り組みについて学んだほか、市のバスを利用して、ごみ処理施設(大仙美郷クリーンセンター)を見学し、ごみ処理の過程や資源循環等について学んだ。	身近な環境の中でできるエコライフはCO2削減に結びつくことの認識を深め、微力ながらもCO2削減のための実践を促すことができた。  【参加人数 37名】	

(2) 継続事業

No.	実施部署	事業名	事業内容	事業効果	備考
11	企画部 情報システム課	市民向けパソコン基礎 講習会事業	神岡情報センターで実施しているパソコン教室を市職員によるパソコン基礎講習会として大仙市内3箇所計6回開催し、市民全体の情報活用能力の向上を図る。	多くの受講者から高い評価を受けており、本事業の目的である市民に対する情報利活用能力の向上、情報利用者の底上げを図ることができた。  【参加人数 56名】	
12	企画部 情報システム課	就業支援パソコン基礎 講習会	大仙市経済・雇用・生活緊急対策として、ゼロ予算事業で実施しているパソコン基礎講習会にExcelの内容を追加して開催する。	市主催でパソコン操作の基礎的講習会を開催し、再就職希望者の再就職、就業のための情報活用能力を高める。  【参加人数 84名】	
13	企画部 男女共同参画・ 交流推進課	市ホームページ・広報 紙の活用について	市のホームページや広報を活用し、市民や事業所が男女共同参画に関する情報の発信をする。	広報紙には男女共同参画に関する写真・一行詩コンクールの入賞作品を掲載、市ホームページには事業の様子などを紹介した。	
14	企画部 男女共同参画・ 交流推進課	市の審議会等への女 性の参画促進	行政の審議会等における女性の割合を平成21年度までに35%とすることを目標に、担当課等へ改選時期に働きかけるほか、広報誌やHPを活用して、女性の参画推進に関する情報などをPRする。	市の審議会等への女性の参画率 平成19年4月1日 30.2% 平成20年4月1日 31.6% 平成21年4月1日 33.4% 担当課等への働きかけなどにより、審議会への女性の参画率は高くなってきている。平成22年3月改選を迎える団体に対し、引き続き働きかけていく。	
15	企画部 男女共同参画・ 交流推進課	市男性職員の育児休 業取得の啓発	人事課と協力のうえ、男性職員に対し、育児休業取得について働きかけるとともに、育児休業制度の周知等、情報提供に努める。また、職員ポータルを活用して啓発を図る。	毎週金曜日に職員向けのポータルで4回シリーズにわたり男性の育児参加について紹介した。今年度、男性職員の育児休業取得者はいなかったが、引き続き啓発していく。	

No.	実施部署	事業名	事業内容	事業効果	備考
16	企画部 男女共同参画・ 交流推進課	男女共同参画に関する研修会の開催	職員を対象とした男女共同参画に関する研修を行ったほか、男女共同参画に係る委員(審議会委員、地域推進員、あきたF・F推進員など)を対象とした実践能力養成等に関する研修会(地域サポーター養成講座)を実施した。	職員研修については、ペアーレ大仙センター長 森田克彦氏を講師として、職員の意識高揚が図れた。 また地域サポーター養成講座については、ロシアに滞在経験のある横手市在住の新田祐子氏を講師に迎え「ロシアの子育ての支援について」と題し、日本の支援との違いについて学ぶことができた。  【参加人数 50名】	
17	企画部 男女共同参画・ 交流推進課	職員への男女共同参画の啓発、情報提供、研修の実施について	毎週1回、職員ポータルに掲示板を活用し、男女共同参画に関する事業の様子や国・県の動き等の情報を継続的に発信し、職員の理解を求め、意識改革を図る。	毎週金曜日に継続して、情報を発信していることで職員に男女共同参画に関する理解と認識を深めている。	
18	企画部 男女共同参画・ 交流推進課	育児(19時)に帰ろうマイホームキャンペーンの実施	男性職員も育児に参加できる環境をつくることにより、家庭や職場における性別役割分担意識の解消を図るため、庁内放送や職員ポータルを活用し、呼びかけを行う。	庁内放送で啓発することにより、職員間で「今日は”いくじの日”だから、早く帰ろう」と定着はしつつある。	
19	企画部 男女共同参画・ 交流推進課	チーム大仙プロジェクト事業(プロジェクトD)	市民と行政が役割分担しながら協働のまちづくりを目指すことを目的に、若手市職員を対象として市内で活動している市民団体とともに研修会を行う。 本年は、NPO法人秋田県南NPOセンターが大仙地域の発展と活性化を目指し立ち上げた「若者会議」に、市から若手職員が参加した。	市内で活動している高校生、異業種の方や団体との交流を通して、職員の資質向上を図るとともに、市においての自分の役割や行政のあり方を考えるきっかけとなった。 また、大仙市の中心地の課題や若者を取り巻く問題などについて、柔軟な発想で思考し、議論し、行動することができた。  【参加人数 19名】	
20	市民生活部 環境課	ごみ講話	団体等の要望に応じたごみに関する講話や、ごみサンプルを活用した説明会を実施し、ごみの減量化及び再資源化の推進について啓発を行う。	若い世代を中心に実施し、保育園等の行事に合わせて講話を開催した。 買い物をする機会の多い世代を対象にしたため、PR効果は高いと思われ、ごみ減量化及び再資源化の推進における意識の高揚を図れた。  【参加人数 396名】	

No.	実施部署	事業名	事業内容	事業効果	備考
21	健康福祉部 社会福祉課	要援護者緊急除雪事業	自力で除雪が困難で、親類や近隣住民の援助が得られない高齢者や障害者世帯の支援策として、健康福祉部職員が除雪作業を行う。大曲地域限定で家屋周辺の除雪、自宅敷地内の通路確保を行い、屋根の雪下ろしは対象外としている。当事業は大雪時の緊急的な支援として行われるものであり、また、各種事業(高齢者除雪サービス事業、大仙雪まる隊)の補完として実施するものである。	冬期間における要援護者の安全が確保され、安心した日常生活を送ることができるものの、今冬は実績なし。	
22	健康福祉部 健康増進センター	市民健康教育	地域の医師不足・医療の危機が盛んに言われている中で、大曲仙北医師会でも例外ではなく、それぞれの立場から地元医師の現状報告の後、市民が直接意見交換を行い、お互いに地域医療を考える機会とすることを目的として、大曲仙北医師会が主催となり開催した。	地域医療をテーマとした地元医師からの現状報告の後、市民との意見交換を行い、普段のかかりつけ医と直接地域医療について話し合い、厳しい現状を認識することができた。  【参加人数 40名】	
23	農林商工部 商業労政課	県南地区職場研修事業	近年増加している新卒就職者の早期離職の解消、県内就職の促進をねらいとして、県南地区において職場研修事業を平成21年7月23日から8月5日まで開催する。 内容としては、生徒が直接事業所を訪問し、職場の雰囲気や仕事内容を理解するとともに、就職に対する認識を深めてもらうことを目的としている。 本年度は県南の雇用開発協会(大曲、横手及び湯沢)と連携し、県南地区の35事業所の協力を得ながら実施する。事業の取り組み内容は商業労政課において参加者の取りまとめ等の事務処理を行うとともに、研修日に市内事業所において参加生徒の随行を行う。	大仙、仙北地域の平成21年度3月卒予定者の就職希望者のうち、研修参加者の就職内定状況(平成21年12月末現在)は就職希望者全体の内定率86.5%より7.7ポイント高い94.2%となった。また、県内の内定状況では全体の80.4%より12.3ポイント高い92.7%となった。  【参加人数 189名】	

No.	実施部署	事業名	事業内容	事業効果	備考
24	中仙総合支所 地域振興課	八乙女公園下刈り作業	桜の名所及び自然観察公園として位置づけられている八乙女公園において、管理の行き届かない場所を特定し、下刈り、つる切り、届く範囲の病気の枝切り等を実施し、開花を助長し、樹の成長、自然観察の場を確保する。 今年度は公園南側斜面を選定し、職員と地域団体とが協働で実施する。	地域経済団体「土友会」及び「中仙ライオンズクラブ」の協力も得ながら2回実施し、公園の景観整備が促進された。また、地域に「八乙女山を守る森林ボランティア」なども誕生し「地域ぐるみ」という言葉が強調できる公園となった。  【参加人数 39名】	
25	教育委員会 施設管理課	市内小中学校樹木枝伐採及び処理作業	学校現場からの要望及び巡回の過程で、倒木や枝折れの恐れがあるとされる樹木の剪定及び伐採処理作業を職員が対応する。	校庭内にある倒木撤去作業を実施。課員が機材等を借用し経費節減に努めた。 ※業務委託の場合：50千円程度  【参加者 3名】	
26	教育委員会 花館公民館	第3回花館地区歩こう会「地域の歴史を学ぼう」	講師の説明に耳を傾けながら、地域を散歩・ハイキングすることで自分の住んでいる花館の地域文化や歴史を再認識する。	昨年とコースを変えて実施したことにより、多くの歴史に触れることができ、高い関心を持って説明に聞き入る参加者の姿が見られ好評だった。  【参加人数 20名】	
27	教育委員会 文化財保護課	大仙市文化財めぐり	大仙市内の国県市指定文化財等の周知啓蒙と文化財への理解を深めていただくことを事業目的とする。所有者や保存会、ボランティア団体等の解説や案内をいただき、大仙市内の各地域に保存伝承されている文化財への理解と愛護精神を深めてもらう。	平成17年度に大仙市発足記念行事として実施したところ好評であったことから、毎年度継続して実施している。申し込みは受付開始とともに定員となり市民の関心の高さが伺える。市広報で募集し、公用車を使うことで経費を抑えている。参加者はコースを見学し、文化財に対する理解と愛護精神を深めている。  【参加人数 20名】	



No.	実施部署	事業名	事業内容	事業効果	備考
28	教育委員会 文化財保護課	国指定名勝池田氏庭園リーフレット作成(編集及び監修協力)	国指定名勝池田氏庭園の普及啓蒙のためのリーフレット作成について、名勝庭園を築き地域づくりに貢献している池田家の功績顕彰を目的とする池田家顕彰会と連携して発行を行っている。池田家顕彰会が発行経費を負担し、文化財保護課が編集協力及び監修等の協力を行い、リーフレットを発行する。庭園の特別公開時や問い合わせ時の説明用として配布利用されており、文化財庭園及び文化財保護についての普及啓蒙に大きな効果がある。	名勝池田氏庭園の特別公開については市民団体である池田家顕彰会と大仙市及び市教委の共催(協働)で行われている。市民団体会員による受付や解説案内ボランティアが行われている等、文化財活用の分野において市民と行政との協働が図られており、文化財の保存整備活用に対する市民の理解と支援も広がりを見せている。  【参加人数 10,960名】	
29	教育委員会 文化財保護課	ふるさと文化再興事業の受託化による指定文化財等保存整備事業	伝統文化継承のための伝承者養成、用具類整備、映像記録保存等を対象とした財団法人伝統文化活性化国民協会の補助事業について、各種保存団体等への周知徹底と積極的な活用の推奨及び保存会に対し事業化への積極的な働きかけと応談を行う。	保存会等は後継者や用具について課題を感じているものの、文化財関係の各種補助事業については情報をもっておらず、また、事務的な面についても不慣れであることから消極的な場合もある。 職員による積極的な周知や働きかけと事業受託における文化財保護上の技術的、事務的支援を行い、保存会等が当補助事業の選抜採択を得ることでゼロ予算事業化を図る計画であったが、平成21年度の新規受託は0件であった。	
30	教育委員会 総合図書館	行政支援サービス事業	図書館資料、図書館サービスを活用し、業務に必要な情報を提供することにより、市の課題解決のための情報支援を職員に対して行う。これにより、一層、迅速で内容の充実した市民サービスの向上を目指す。	事業への参考資料、ペアーレでの託児サービス備品としての貸出が目立った。また、「行政ビジネス支援通信」での新聞記事のピックアップにより、記事の確認に来館する職員も増えたことから、事業効果があったと思われる。	
31	教育委員会 神岡分室	ふるさと発見事業	社会教育指導員が主体となり、ふるさとの見どころを撮影したビデオやDVDを作成し、無償で市内の小中学校に貸し出しする。	市内小中学校ならびに自然保護団体の自然観察会などの学習資料として役立つだけでなく、自然保護意識の啓蒙として役立つ。また地域の方々に観ていただく機会を増やすことにより地域の自然に関心をもたせる。  【参加人数 28名】	

No.	実施部署	事業名	事業内容	事業効果	備考
32	教育委員会 中仙分室	バックステージツアー	小学生以上を対象に、中仙市民会館の運営を理解していただくために、普段客席からは見えない”バックステージ”と呼ばれる照明調整室、音響調整ブース、センタースポット・ルーム、楽屋、機材庫等を見学していただき、ステージ照明、音響等のデモ操作や鑑賞を行った。	参加者は初めて見る楽屋やピアノ庫、調整室などを探検し、センターピン・ルームでは、そこから見る舞台の様子に驚いていたほか、民謡ショーを鑑賞し「音響や照明の仕組みを知って、楽しみ方の幅が広がった」と普段見ることができない舞台裏を見学することにより、より中仙市民会館への関心が高まった。  【参加人数 70名】	
33	教育委員会 協和分室	仙人大学公開講座	高齢者に学習機会を提供している仙人大学の学習会に公開講座を加え、仙人大学生以外にも学習の機会を提供する。	高齢者にとって「薬」は日常のことではあるが、間違った使い方をしていないか確認する意味で学生みずから選んだテーマである。講演後あらためて間違いに気がついたり、忘れかけていたことを再確認できたなどの評価を得た。  【参加人数 9名】	
34	教育委員会 協和分室	子ども教室(のびのび きりん教室2009 バージョン)	協和地域の就学前の子どもたちを対象に、絵本の読み聞かせ、リトミック、運動会ごっこなど経験を共有させることで交流を深めるとともに、小学校での交流の場を設け、就学への期待をふくらませるように企画する。	就学前に子ども達が交流を深めることにより、就学への不安を軽減させ、また、今年度は実際に小学校に行き、1年生と交流させたことで、より一層就学への期待を持たせることができた。小学校側としても就学前に交流することで子ども達もすぐに小学校生活に馴染み、クラス運営がしやすいと好評であった。  【参加人数 278名】	
35	教育委員会 仙北分室	イベントホール無料 開放DAY「キミこそ スターだ!!」	仙北地域内の団体及び小学生、中学生、高校生を対象に仙北ふれあい文化センターイベントホールステージの無料開放日を設け、市民によるステージ体験を支援した。	普段ステージを利用して練習や発表会等を行えない方でも、気軽にステージを利用できる機会を設けることで、市民の芸術活動を支援するとともに、センターの利用促進に資することができた。また、市民間及び団体間の交流を促進し、市全体の芸術文化活動の振興に資することができた。  【参加人数 150名】	

No.	実施部署	事業名	事業内容	事業効果	備考
36	教育委員会 仙北分室	仙北キッズ学びい教室	長期休業期間に高校生や一般ボランティアの指導のもと、子どもの学力を確かなものにするほか、楽しんで勉強する習慣付け、他校の生徒との学習などを目的に開催する。	普段はない他校の児童との学習や、高校生、一般のボランティアの指導が新鮮で、楽しみながら苦手科目の克服に意欲的に取り組んだ。 夏休み期間中にこのような教室があると、子どもたちの勉強への取り組みが途切れず助かるとの保護者からの意見もあった。  【参加人数 109名】	
37	教育委員会 太田分室	太田学びい教室事業	夏休みに小中学生を対象とし、高校生ボランティア、小中学校教諭、元教諭及び教育委員会職員の指導による学習会を開催する。	地域が連携して、子どもを守り育てる意識が助長され、学力の向上とボランティア意識の向上が図られる。  【参加人数 192名】	
38	教育委員会 太田分室	ゲストティーチャー事業	公民館事業で培われた人脈を生かし、総合的な学習や各教科でゲストティーチャーとして活躍できる人達のリストを作成及び紹介し、授業に生かすことで授業内容の浸透及び活性化を図る。	世代間の交流と実体験を通しての学習であり、児童生徒の将来の人間形成に役立つ効果は大きい。  【参加人数 145名】	
39	教育委員会 太田分室	太田のてらこ屋事業	小中高校生を対象とし、夏休みに東京学芸大学附属高校野球部員及び教諭、OB(大学生)が指導する学習会を開催する。	地域社会における連帯意識の希薄化が叫ばれている今日、「読み書き算盤」を通しての東京の高校生、地元の児童及び生徒の交流は自ら学ぶ意欲と研鑽を積む良い機会となった。  【参加人数 20名】	

(3) 期中新規として実施された事業

No.	実施部署	事業名	事業内容	事業効果	備考
40	企画部 男女共同参画・ 交流推進課	国際交流員(CIR)異文化理解出前講座	国際交流員(CIR)の文化紹介をとおして、異文化理解を深めることを目的とし、国際交流員が母国の言葉や文化、伝統的な遊び等の紹介を行い、参加者へ異文化(韓国文化)を伝える。	韓国文化をとおして、日本と違う文化について理解するきっかけとなった。また、異文化に触れることによって、自分(地域や日本)を再認識するきっかけとなったほか、国際交流員の存在を広めることができた。  【参加人数 800名】	
41	農林商工部 商業労政課	仙北地域雇用促進就職面接会	雇用環境が大変厳しい状況の中、求職者の就職支援と企業の人材確保を目的として、ハローワーク大曲・角館、仙北地域振興局、大仙市、仙北市、美郷町からなる「仙北地域雇用促進連絡会議」の主催により就職面接会を開催する。 参加企業32社に対し、206人の求職者(平成22年3月高校及び大学等を卒業予定者含む)が来場し、面接や会社説明を受けた。 当市では、市長が市内企業を訪問し、面接会への参加要請活動を行った。	人材を求めている企業と、働く先を探している方々との交流の場を提供し、お互いの理解を深めることにより、企業の人材確保と求職者の就職支援につながる事ができた。  【参加人数 206名】	
42	農林商工部 観光物産課	JRとの連携事業「駅からハイキング」	JRが主催するウォーキングイベントである「駅からハイキング」へ、市内コースの提案をし、案内人・休憩所等の情報提供や手配に協力するとともに、当日のハイキングに同行しJRスタッフと共にスムーズな運営に当たる。	首都圏からの誘客、近隣参加者の流動などで観光振興を図る。 JRパンフレット及びHPを通じ大仙市の観光情報発信効果が期待できる。  【参加人数 31名】	
43	農林商工部 企業対策室	大仙市オリジナル応援名刺作成	市内印刷業者の協力を得て、「秋田県大仙市は企業誘致に取り組んでいます」「私は秋田県大仙市を応援しています」の一文が入り、大仙市の位置図や観光名所などを写真、イラストなどで紹介する、フルカラーの見開きの名刺の台紙を作成した。県内外において、市職員並びに市議会議員、商工団体、市出身者など広く市関係者が大仙市をアピールすることにより企業誘致、観光振興につなげることを目的としている。	6月12日から市職員を始めとして順次注文受付、市職員67、市議会6、県議4、市内事業所16、首都圏46、計139人が作成。2ケース目の注文も数件あったため、幅広いPRがなされたと考えられる。 また、オリジナル名刺の作成自体が新聞3社(読売、河北新報、秋田魁)で取り上げられパブリシティ効果が得られた。  【参加人数 139名】	

No.	実施部署	事業名	事業内容	事業効果	備考
44	教育委員会 施設管理課	協和地域廃校小学校 備品・旧神岡幼稚園備 品等再利用に係る作 業	協和地域の廃校となった小学校や、神岡地域の旧神岡幼稚園の備品等について、要望のあった、市内幼稚園、小学校、中学校に対し、備品を再利用させるため、職員が運搬作業を行った。	旧協和地域の小学校備品・旧神岡幼稚園の有効利用が図られ、市内幼稚園、小学校、中学校の備品の充実が図られた。 ※業者委託の場合:350千円程度  【参加人数 23名】	
45	教育委員会 神岡分館	作品展示事業	芸術文化協会・サークル・嶽雄大学等の作品を、かみおか嶽雄館展示ホールに展示し、市民に広く鑑賞していただく。	地域団体に発表の場を提供し活動を盛り上げる。  【参加人数 300名】	
46	教育委員会 神岡分室	出前講座	地域住民の要請により、市職員や他の講師を派遣し、身近な課題をテーマとした講座の開設。10名ほどであれば、どこへでも講師を派遣し、学びたい内容は限定せず、生涯学習としての要望に応える形で講師を派遣している。	出前講座を全9回実施。気軽に生涯学習講師の依頼ができ、人材活用・地域の活性化という環境作りに資する。頼みやすさがポイントで人材バンクなども活用できる。少子化で活動がなかなかできない子ども会などでも、大きくまとめた形で利用してもらった。 学びたいが講師は頼みづらいという垣根を低くすることにより、手軽で・いつでも・どこへでもという講座となっている。  【参加人数 323名】	
47	教育委員会 神岡分室	地域団体育成事業	地域からの要望により、講習会等を開催しサークル団体等の立ち上げに協力する。 本年度は、コーラスサークルを立ち上げるため、講師の先生にお願いし、無料の講習会を開催後、コーラスサークル立ち上げの話し合いをして頂き、サークル活動開始の手伝いをする。	地域団体の育成と学習意欲を盛り上げる。  【参加人数 25名】	

No.	実施部署	事業名	事業内容	事業効果	備考
48	教育委員会 神岡分室	がくゆう教室	夏休み・冬休み中に自分で選んだ不得意な勉強科目を持参し、指導者(教員OB・社会人・高校生ボランティア)の協力で個々人の課題に取り組んだ。休憩を含めてレクレーション・低学年への読み聞かせも実施している。	夏期および冬期休み2回とも参加する子どもも多く、保護者からも喜ばれている。 分かりやすく、楽しかったとの感想と勉強への理解・関心を高めて、特定教科への苦手意識を解消する効果があった。  【参加人数 32名】	
49	教育委員会 西仙北分室	チャレンジ夢ひろば 「動物ふれあい教室」	当初計画していた、こども自然観察会が、講師と日程が合わずに開催できなかったため、夏休み期間中に「チャレンジ夢ひろば動物ふれあい教室」に変更して行った。対象は西仙北地域の小学生とし、市のバスで、秋田市大森山動物園で事業実施した。	飼育員から話を聞くことにより動物に対する知識を深めるとともに、生き物を大切にすることを育んだ。夏休み中の開催だったが、子どもが安全に過ごせる機会を提供したことにより、父兄に歓迎された。  【参加人数 40名】	
50	教育委員会 協和分室	夏休みちびっこ体験 講座「座禅にチャレンジしませんか？」	小学生を対象に、座禅を通じて「自分」を見つめなおす機会を与える。また、座禅終了後は、「心の栄養」について講話も実施した。	正座することがほとんどない現代っ子たちも、この日ばかりは神妙な表情で、途中で姿勢がくずれ正される場面も見られましたが、家庭や学校の中では体験できない座禅を通じ、普段の自分の行動や言動を省みる時間を持つことができた。  【参加人数 27名】	
51	教育委員会 協和分室	「奥田酒造店店舗兼主屋」見学と秋の協和路めぐり	50年以上経た今もなお、モダンな風格を兼ね備えた近代的和風建築の建物「奥田酒造店店舗兼主屋」が国の有形文化財として登録されたことをきっかけに、洗練された造形美に触れさせるとともに、新たに開館した「協和農村文化伝承交流館」では、力強く仕事に生きた先人の生活を学び、「大盛館」では郷土が生んだ女流作家「松田解子」の生涯と、明治期に隆盛を極めた荒川鉦山の歴史や産物に触れ、郷土の理解と郷土愛を深めた。	協和地域は多数の名勝旧跡が点在している。今回は国の有形文化財に登録された奥田酒造店の「店舗兼主屋」の見学をメインに秋の協和路めぐりを実施した。参加者にとっては自分達の住む地域の中で近代的和風建築の造りや伝統、文化、郷土の歴史に触れる貴重な一日になった。  【参加人数 23名】	

No.	実施部署	事業名	事業内容	事業効果	備考
52	教育委員会 南外分室	こんなに広い私たちの大仙	市内の各施設、名所などを視察研修することにより「ふるさと大仙」の意識を涵養することを目的とし、地域内の小学3年生を対象に、学校と公民館が連携した社会科見学バスツアーを実施。 今年度は、学校給食総合センター、(株)小松煙火工業、八乙女公園散策、道の駅なかせん「こめこめプラザ」を見学先として実施した。	今年度から、各小学校と連携して『こんなに広い私たちの大仙』を年間計画に導入してもらい、先生方と打合わせをしながらスムーズに進めることができました。この事業を通して、南外地域内の両小学校の交流ができると共に、社会科授業(フィールドワーク)が一度に体験出来るという効果がありました。また、地元を更に知ることができ、子どもたちにとってはとても良い体験だと思います。来年もぜひ続けていきたいです。  【参加人数 23名】	
53	教育委員会 太田分室	少年少女野球教室 in おおた	5月の連休に、大仙市スポーツ少年団太田支部野球団員を対象として開催。 プロ野球OBのご好意により野球教室を開催し、少年少女の野球技術の向上と野球を通じた地域間交流を目的とする。	プロ野球OBの指導の実技指導・学習教室であり、シーズン始めの時期でもあり、実践ですぐにでも役立つと思われる効果は大である。  【参加人数 80名】	

## 平成22年度ゼロ予算事業計画一覧表

No.	提案部署	事業名	事業内容	区分	備考
1	企画部 情報システム課	市民向けパソコン基礎講習会事業	市民全体の情報活用能力の向上を図ることを目的として、市職員によるパソコン基礎講習会を大仙市各地で実施する。	継続	
2	企画部 情報システム課	就業支援パソコン基礎講習会	厳しい経済・雇用情勢を踏まえ、情報活用能力の向上と就労への支援を図ることを目的として、市職員及び神岡IT講座指導補助員によるパソコン基礎講習会を実施する。	継続	
3	企画部 男女共同参画・ 交流推進課	市広報誌・ホームページの活用について	市の媒体を活用し、身近なところに存在する問題やキーワードを取り上げ、男女共同参画の視点を交えて情報発信する。	継続	
4	企画部 男女共同参画・ 交流推進課	育児（19時）に帰ろうマイホームキャンペーンの実施について	職員の超過勤務を縮減し、育児に参加する時間を確保するため、職員ポータルへの記事掲示、庁内放送により全庁的に実施する。また、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に関する情報提供をする。	継続	
5	企画部 男女共同参画・ 交流推進課	市の審議会等への女性の参画促進事業	行政の審議会における女性の参画を推進するため、母体となる団体への啓発を行うほか、女性委員のいない審議会や委員の改選を迎える団体等に女性の参画推進の必要性や女性人材リストの存在を周知する。	継続	



No.	提案部署	事業名	事業内容	区分	備考
6	企画部 男女共同参画・ 交流推進課	県庁出前講座を活用した男女共同参画に関する研修会の開催	秋田県生涯学習課が窓口となっている「県庁出前講座」を活用し、様々な分野において男女共同参画に関する研修会を開催することにより、市民や職員が主体的にその理念を学習できる機会を提供する。	継続	
7	企画部 男女共同参画・ 交流推進課	市男性職員の育児休業制度取得に関する啓発	男性職員に対し育児休業に関する情報提供を行ったり、全職員に対して育児休業制度に関する情報提供や研修会を開催する。また、取得者の体験談等の情報を発信する。	継続	
8	企画部 男女共同参画・ 交流推進課	市職員に対する男女共同参画推進事業	毎週金曜日、職員ポータルを活用し、男女共同参画に関する情報提供を行う。また、年2回程度グループワークを取り入れた研修会や、男女共同参画プランの実施状況や評価に係るヒアリングを実施する。	継続	
9	企画部 男女共同参画・ 交流推進課	国際交流員（CIR）異文化理解出前講座	国際交流員（CIR）の文化紹介をとおして、異文化理解を深めることを目的とし、国際交流員が母国の言葉・文化・伝統的な遊び等を紹介し、参加者へ異文化を伝える。異文化に触れることによって、自分（地域や日本）を再認識するきっかけとなることが期待される。	継続	
10	市民生活部 環境課	生物環境学習	ふるさとの自然に愛着を持つとともに、幅広い興味・知識が得られるような環境学習の推進を図るため、夏休みや環境フェア時を活用し、身近な河川などに住む生物の生息環境について学習し、水資源などの自然環境を良好な状態に保つことが、多様な豊かな生息系の維持に繋がることへの理解を深める。	新規	
11	市民生活部 環境課	ごみ講話	ごみ分別の徹底や減量化の促進を目的とし、各種団体（自治会・婦人会等）を対象に、ごみに関する講話（ごみの分別、家庭で出来る減量化の取り組み、リサイクルの流れ、レジ袋の削減、廃食用油回収事業等）を実施する。	継続	

No.	提案部署	事業名	事業内容	区分	備考
12	市民生活部 環境課	民間事業所の広告媒体を活用した「ごみ減量」等の啓発	市民に対して、ごみ減量や地球温暖化防止への責任と自覚を促すため、大仙市内における遊技場等の電子広告媒体を活用し、広く「ごみ減量」等の周知を図る。	継続	
13	健康福祉部 健康増進センター	市民健康教育	医薬品業者の協力を得て精神科医による「こころの健康教室」を開催し、自殺予防啓発に努める。	継続	
14	農林商工部 農林振興課	鮭の稚魚の成長観察	市営ふ化場で秋に採捕した鮭から採卵、受精した卵（発眼卵）を各小学校の水槽に写し、ふ化の瞬間とその後の成長を観察、餌やり等を体験させ、河川に放流する。鮭は3～4年後、子孫を残すため生まれた川に帰ることから、数週間でも鮭の生育に関わることにより、子どもたちに自然環境及び生命の大切さ等を学んでもらう。	継続	
15	農林商工部 商業労政課	仙北地域雇用促進就職面接会	雇用環境が大変厳しい状況の中、退職者の就職支援と企業の人材確保を目的として、ハローワーク大曲・角館、仙北地域振興局、大仙市、仙北市、美郷町からなる「仙北地域雇用促進連絡会議」の主催により就職面接会を開催する。	継続	
16	農林商工部 商業労政課	県南地区職場研修事業	就職してから短期間に離職する新卒就職者への対策として、県南地区の雇用開発協会（大曲・横手・湯沢）や事業所・高等学校等と連携し、事業所の見学や研修を行い、仕事に対する認識を深め自己適正を判断する機会を提供する。	継続	
17	農林商工部 観光物産課	JRとの連携事業「駅からハイキング」	首都圏からの誘客、近隣参加者の流動などで観光振興を図るとともに、JRのパンフレット及びHPを通じ、大仙市の観光情報を発信することを目的とし、JRが主催するウォーキングイベントである「駅からハイキング」に市内コースを提案する。	継続	

No.	提案部署	事業名	事業内容	区分	備考
18	農林商工部 企業対策室	市内企業データベースの公開	管外企業並びに管内企業同士の受発注支援を図るため、企業情報を一元化して「業種別」「五十音順」の2カテゴリから企業情報を検索できるデータベースを作成し、市のホームページに掲載する。	新規	
19	農林商工部 企業対策室	大仙市オリジナル名刺作成	市内印刷業者の協力を得て、「秋田県大仙市は企業誘致に取り組んでいます」「私は秋田県大仙市を応援しています」の一文が入り、大仙市の位置図や観光名所などを写真、イラスト等で紹介する、フルカラーの見開き名刺の台紙を作成する。県内外において、市職員並びに市議会議員、商工団体、市出身者など広く市関係者が大仙市をアピールすることにより企業誘致、観光振興に繋げることを目的とする。	継続	
20	中仙総合支所 地域振興課	八乙女公園周辺桜再生事業	毎月各課から2～3名程度職員を募集するとともに、「八乙女山を守る森林ボランティア」にも職員が積極的に参加しながら、八乙女公園及び周辺桜の木の成長を助長し、桜の街を再生する。	新規	
21	教育委員会 施設管理課	樹木の剪定及び伐採処分等 事業	学校現場からの要望及び巡回の過程で、倒木や枝折れの恐れがある場合や、交通の妨げ或いは、近隣の施設、家庭へ迷惑がかかっている樹木の剪定及び伐採処理作業を職員が敏速に行う。	継続	
22	教育委員会 施設管理課	校庭内ライン引き	幼稚園、小中学校の校庭内駐車場及び通路での事故を防止するためと経費節減のため、職員がライン引きを行う。	継続	
23	教育委員会 学校教育課	特別支援セミナーにおける 指導・助言	県が実施する特別支援学級新担任及び研修希望校の特別支援学級担任等に対して、授業研究や学級経営研修等のための訪問指導に職員が同行し、アドバイザー的な役割を担う。	継続	

No.	提案部署	事業名	事業内容	区分	備考
24	教育委員会 学校教育課	学校における安全対策の支援	児童生徒が安心して教育を受けられるよう「大仙こども安全安心メール」による情報発信を実施する。	継続	
25	教育委員会 学校教育課	教育研究所ホームページ（DEネット）による教育情報の提供	38小・中学校が一体感をもって力強く日々の教育を実践できるよう、また、質の高い授業づくりを支援するため、大仙市教育研究所ホームページ（DEネット）の内容を充実させる。	継続	
26	教育委員会 学校教育課	学力向上推進事業	児童生徒の学力の定着を図るために全国学力・学習状況調査及び秋田県学習状況調査の回復指導に役立つフォローアップシートを作成する。紙代等の消耗品費を除く謝金等の計上経費はゼロで、学力向上推進委員となっている市内教職員に協力いただき作成に当たる。	継続	
27	教育委員会 学校教育課	幼稚園、小・中学校の不用物品等廃棄処理支援事業	不用物品等の廃棄処理作業を支援する。	継続	
28	教育委員会 生涯学習課	大人のための名文購読	近代以前の古典文学を対象とし、現代の生活に引きつけた切り口を提示することによって、今の社会を相対化する視点を養成する。読書指導者養成を兼ねた成人のための読書啓発講座として位置づける。 勤労者の参加を勧めるため、開講時間は平日夜間とする。	新規	
29	教育委員会 花館公民館	地域の歴史を学ぼう「歩こう会」	地域の歴史に詳しい方々の話を聞くことで、自分達の住んでいる地区に愛着と誇りを持つとともに、次の世代に受け継いでいけるようにする。また、仲間と一緒に自然に触れて行動をすることにより親睦を深める。	継続	

No.	提案部署	事業名	事業内容	区分	備考
30	教育委員会 角間川公民館	介護予防講習	高齢化が進み、将来に大きな不安がある現代、その不安を少しでも取り除くために、今から少しでも予防ができ、予防意識を高めることができるよう介護予防講習を開催する。	新規	
31	教育委員会 文化財保護課	国指定名勝池田氏庭園リーフレット等作成（編集及び監修協力）	国指定名勝池田氏庭園の普及啓蒙のためのリーフレット作成について、名勝庭園を築き地域づくりに貢献している池田家の功績顕彰を目的とする池田家顕彰会（市民団体）と連携し、発行を行っている。	継続	
32	教育委員会 文化財保護課	市民等が主催して行われる講座や座談会等への講師派遣事業	公民館主催講座を始め、地域の生涯学習団体や町内会・婦人会総会などの機会に、市民等が主催して行われる講座や座談会等において、文化財保護についての普及啓発を図るため、職員が訪問し講師として文化財保護課に係る講演などを行う。	継続	
33	教育委員会 文化財保護課	大仙市文化財めぐり	大仙市内の国県指定文化財等の周知啓蒙と文化財への理解を深めていただくことを事業目的とする。所有者や保存会、ボランティア団体等の解説をいただき、大仙市内各地域に保存伝承されている文化財への理解を深めていただく。 見学地には、史跡名勝等の他、発掘調査現場、洋館修復現場、庭園整備作業現場、古文書調査現場、仮称昔の暮らし体験館（旧峰小）等の整備作業現場見学等を加えることで、文化財の保存と整備、活用に対する普及啓発を図る。	継続	
34	教育委員会 文化財保護課	大仙市文化財めぐり（小学生向け）	大仙市内にある文化財に若いうちから興味をもってもらい、将来の学芸員や研究者を増やすことを目的として、市民バスを利用した小学生向けの文化財見学を実施する。発掘調査現場見学と現場体験、仏像見学と座禅体験、弘田柵南門登門体験など、各種体験型プログラムを交える。	新規	

No.	提案部署	事業名	事業内容	区分	備考
35	教育委員会 文化財保護課	文化財庭園活用事業（旧池田氏払田庭園のライトアップ事業）	市立公園内に位置し、常時公開されており、地域では紅葉の名所として知られているものの、紅葉期以外の来園者数が少ないことから、夏季の払田庭園の魅力を伝えることで、常時維持管理が行われている払田庭園の夏季の活用を推進する。	新規	
36	教育委員会 総合図書館	公立図書館と学校図書室との連携事業	公立図書館職員が学校を訪問し、学校図書室の実情を聴取し、不足している図書の団体貸出等を図り、児童生徒が自主的に本に親しめる環境整備を図る。 公立図書館職員と学校図書室職員とが連携を図ることにより、両館の利用者が更に増えることが期待される。	新規	
37	教育委員会 神岡分室	アクアキッズフェス	全国のB&G海洋センターで全国一斉に行われる水中運動会で、小学生4人一組でエントリーし、泳げなくても楽しめる5種類の水中競技に挑戦し、タイムを競う。	新規	
38	教育委員会 神岡分室	子どもふるさと体験事業	公民館職員が主体となり、市内の小中学生を対象にふるさとの自然、文化行事に参加する働きかけをして参加者を募り、行事に参加のうえ地域をより深く知ってもらう。（山菜採り、史跡めぐり、しめ飾り作り、彼岸花作り、祭典等）	継続	
39	教育委員会 神岡分室	ふるさと発見事業	社会教育指導員が主体となり、神岡の自然をビデオに納め、DVDを作成し、学校教材として配布及び貸し出しする。	継続	
40	教育委員会 神岡分室	がくゆう教室	夏休み・冬休みに小学生を対象に、学習と遊びの教室を開催する。児童の長期休み期間にボランティアの先生から、自主学習のお手伝いをさせていただく中に遊びの時間も設け、リフレッシュして再度自習を行う。	継続	

No.	提案部署	事業名	事業内容	区分	備考
41	教育委員会 神岡分室	子ども自主体験事業	子どもの自主性を育て実行力をつけるため、子ども達が今、何を公民館に求めているかを探り、各種スポーツや料理講習体験、ボランティア体験等、子ども達の意思をできるだけ尊重した事業を実施する。	継続	
42	教育委員会 神岡分室	出前講座	地域団体の求めに応じて、必要な講習会・研修会の講師を斡旋する。	継続	
43	教育委員会 西仙北分室	こども自然観察会	西仙北地域の児童生徒を対象に、自然観察員、ボランティアの協力を得て、近隣の河川敷等で植物の群生地を見学、また双眼鏡や望遠鏡を使用して野鳥の観察をする。	継続	
44	教育委員会 中仙分室	バックステージ・ツアー	小学生以上を対象に中仙市民会館ドンパルホール舞台裏での作業や仕組みを見学・体験してもらう。(楽屋・調整室・機材庫等の探検ツアー、舞台照明・音響等の仕組みと操作体験)	継続	
45	教育委員会 協和分室	協和仙人大学公開講座	高齢者に学習機会を提供している仙人大学の学習会に公開講座を加え、仙人大学生以外にも機会を提供する。	継続	
46	教育委員会 協和分室	子ども教室(のびのびきりん教室2010バージョン)	協和地域の保育園に通園している年長児が集まり、同じ経験を共有することで、子ども同士の交流を深めると共に、年長児と小学生との交流を図り、精神的なサポートや育成により就学への期待を膨らませる。	継続	
47	教育委員会 協和分室	自主事業におけるキッズルーム(託児)開設	保育士取得者である職員の指導のもと、協和分室主催事業、自主事業実施時に図書館児童コーナーや第二研修室を利用し、未就学児を予約制で託児を行う。	継続	

No.	提案部署	事業名	事業内容	区分	備考
48	教育委員会 協和分室	体験講座	小・中学生及び成人を対象に、多種多様な体験講座を開催し、なかなか個人では得られない体験を提供する。(座禅体験等)	継続	
49	教育委員会 南外分室	『こんなに広い私たちの大仙』	地域内の小学3年生を対象に学校と公民館とが連携して社会科見学バスツアーを実施する。市内の各施設、名所などを視察研修することにより「ふるさと大仙」の意識を涵養する。	継続	
50	教育委員会 仙北分室	仙北ふれあい文化センター 環境整備大作戦	仙北ふれあい文化センターの施設周辺はさまざまな草木があり、春から秋まで色々な花や緑に彩られ、来館者の目を楽しませている。園芸栽培に関心のある市民に周知して参加していただき、熟練者の指導を仰ぎながら、管理のコツを聴き、実際にやってみようとするものである。今回は、【紫陽花の管理について】一年を通じて管理のコツを学ぶもの。(肥料の与え方、枝の剪定方法、花が終わった後の管理と肥料の与え方)	新規	
51	教育委員会 仙北分室	家庭でできるエコロジー	地球温暖化の原因である二酸化炭素の削減について、世界各国で取り組み運動が起きている中、身近な環境でできる削減について考える機会を提供する。	継続	
52	教育委員会 太田分室	少年少女野球教室 in おお太田	毎年5月の連休中に、大仙市スポーツ少年団太田支部野球団員を対象に開催。プロ野球OBが指導する野球教室の開催により、少年少女の野球技術の向上と野球を通じた地域間の交流を目的とする。	継続	
53	教育委員会 太田分室	太田のてらこ屋	東京学芸大学附属高等学校野球部員との交流を図りながら、勉学の基礎「読み書き算盤」の実践と市の小中高校生の更なる素養のレベルアップを図るため学習会を開催する。	継続	



No.	提案部署	事業名	事業内容	区分	備考
54	教育委員会 太田分室	ゲストティーチャー紹介事業	総合的な学習等でゲストティーチャーとして活用できる地域の人材を紹介し、授業の活性化を図る。	継続	
55	教育委員会 太田分室	太田学びい教室	夏及び冬休みの長期休業中、小中学生を対象に高校生ボランティア、小中学校教諭及び元教諭が指導にあたる学習会を開催し、苦手教科の克服や学習意欲の向上を図る。	継続	